

榛名山山行報告

【山行日】2022年 11月 12(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 2,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:藤原

飯口、大塚、嶋田、鈴木

【コースタイム】岩舟支所P6:00=榛名湖畔

P7:30/7:50~氷室山 8:10/8:20~天目山

8:50/9:00~磨墨峠 9:50~相馬 10:30/10:50

~磨墨峠東屋 11:20/11:50~榛名湖畔

P12:30/12:40=JA ふれあい館 13:05/13:20

=卯太郎 13:25/13:45=角上魚類

14:10/14:40=岩舟支所P15:20



11月13日(日)に計画したが、天気予報は雨の予報なので急遽12日(土)に変更し実施した。



当初は20名参加だったが、急な日程変更で6名での山行になった。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から関越道を走り榛名湖畔駐車場に7時30分に着く。出発の準備をして、トイレとストレッチを済ませ出発する。

駐車場から舗装道を左に進み、すぐ先のY字路を左に登って天神峠まで行く。峠から左の道に進み、天神社の脇を通過して平坦な道を行き、榛名湖畔からの道と合さると山道になる。木の階段の急登になり、頑張る登ると最初のピーク氷室山に着く。小休止して衣服調整と水分補給を行い、前方に聳える天目山を目指して木の階段を下って行く。榛名湖を左に見て笹の斜面を下り、さらに木の階段の急登が続き、一汗かくと天目山山頂に着く。休憩してミカンや菓子を食べて、記念写真を撮ったら相馬山に向かって出発する。広い防火帯の中に付けられた道を進み、眺望が良い尾根歩きは実に気持ちが良い。下り切った所が七曲峠で、舗装道を横切って再び山道に入る。端正な姿の榛名富士を見ながら進み、小さなアップダウンを繰り返しながら下ると松之沢峠に出て再び県道を横切る。草原状の道を進み、右に急坂を登ると奇岩の磨墨岩を巻くように進み、榛名高原からの道と合さる磨墨峠に出る。

11月13日(日)に計画したが、天気予報は雨の予報なので急遽12日(土)に変更し実施した。



直進すると直ぐに東屋があり、ここに戻って昼食の予定でそのまま相馬山に向かう。長い石段の道



を登り、さらに緩やかな丸太の階段を進むと赤い鳥居の前に出る。

ここが相馬山への登り口で、ここから岩場の急坂が続くが、鉄ハシゴやクサリが設置され、落ち着いて登れば問題ない。登山道沿いには石碑が多く立ち、古くから信仰の山だとうかがえる。急な登りで後続が遅れ始め、途中で待ちながらゆっくり登る。傾斜が緩くなると相馬山山頂に着き、日光連山や関東平野の眺望が得られる。信仰登山が盛んだったようで、狭い山頂に神社や石碑、石像が賑

やかに立ち並ぶ。風も無くポカポカ陽気で、「今日に変更して良かったね」と話しながらご褒美のプリンをいただいた。記念写真を撮ったら下山開始し、往路の鉄ハシゴを下って磨墨峠の東屋を目指す。

東屋に着くと先客の男性が居たが、暖かいので皆さん登山道に腰を下ろしランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、キンピラや漬物など美味しくいただいた。

ランチが済んだら磨墨峠から沼の原へ下り、ゆうすげ園の草原をのんびり歩いて県道に出る。県道沿いに歩いて行き、榛名湖畔の遊歩道に出るとカエデの紅葉が綺麗だった。真っ赤な紅葉が陽射しを受け、観光客の皆さんもスマホに収めていた。駐車場に戻り、1時間早く下山したので買い物ツアーをすることにした。



県道33号線から国道406号線に出て高崎市に向かい、JA ふれあい館で野菜のお買い物。続いてすぐ先の「卵太郎」に寄り、シュークリームとプリンをゲットする。最後は高崎市内の角上魚類に寄り、お刺身や寿司、今晚のお惣菜などを購入した。好天に恵まれて展望の山歩きと、買い物ツアーを楽しめ大満足の山行となった。

